

10代の妊娠・出産・子育てシンポジウム VOL.3

若年妊産婦の 多様な居場所モデルと 人材育成

2024.11.22(FRI)

13:00~16:30

無料

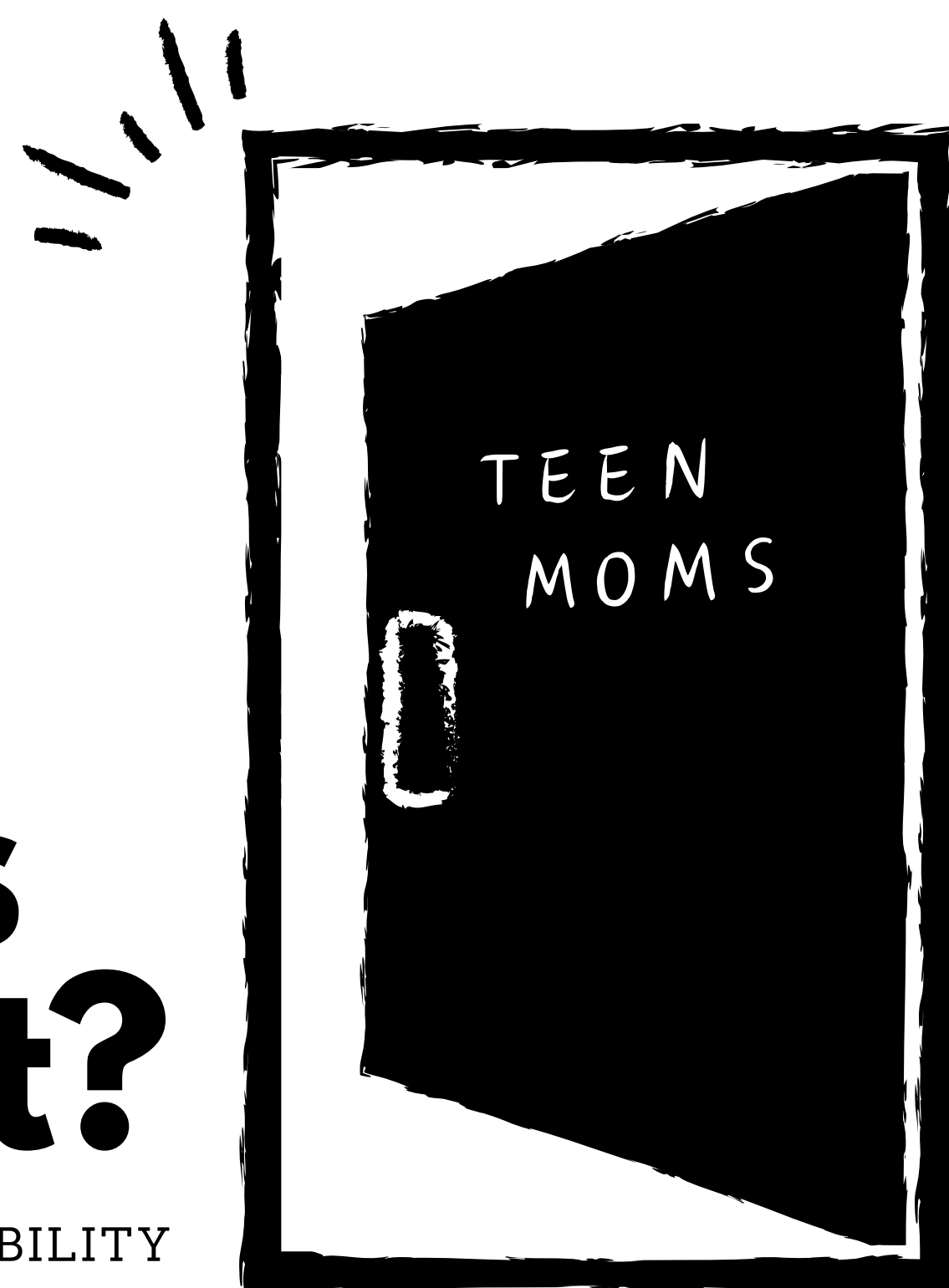
<ハイブリット開催>

沖縄県立博物館・美術館

YouTubeライブ

What is support?

DIVERSITY AND SUSTAINABILITY



参加申込

会場：先着200名/オンライン：先着100名

若年妊産婦支援の「現状と課題」を確認し、今後の支援の多様な可能性を探る

Purpose

- ・現状の確認: 若年妊産婦支援の現状と直面している課題を共有し理解を深める
- ・課題の特定: 現在の支援体制や取り組みにおける問題点や課題を明確にする
- ・未来の展望: 多様な居場所モデルと人材育成の可能性や具体的な提案を模索する

13:00 開会

①調査報告(アンケート・ヒアリング) 13:05

- 若年妊産婦当事者・元当事者の声 (担当: zeroplace)
- 支援者・想定支援者の現状

②基調講演 13:20

首都圏を中心とした若年妊産婦支援の現状報告と
支援人材育成の必要性について

講師: 中島 かおり氏 認定NPO法人ピッコラーレ 代表理事 / 助産師

第2子の出産をきっかけに助産師を目指し、その後病院や助産院で助産師として働く。女性の隣で、その力を信じ支える助産師でありたいと地域でも活動する傍ら、認定NPO法人ピッコラーレ運営に代表として携わる。著書に『漂流女子』朝日新聞出版(2017年)。内閣府「性暴力に関するSNS相談マニュアル作成に係る検討会」委員、内閣官房「こども政策の推進に係る有識者会議」臨時構成員(2021,22年)、社会的養育・家庭支援部会委員(2023年、こども家庭庁)。2020年6月から若年妊婦のための居場所「ぴさら」を運営。その実践経験を元に立ち上げの支援も行っている。



③パネルディスカッション 14:30



ファシリテーター

専門は児童福祉、子育て支援、虐待予防、トラウマ理論、ソーシャルワーク、家族福祉、島嶼コミュニティ研究。琉球大学で准教授、キャリア教育センター長などを歴任。内閣府沖縄振興審議会委員、沖縄県子どもの貧困対策会議座長などを務め、地域貢献に積極的に取り組む。

本村 真氏

琉球大学 人文社会学部人間社会学科 社会福祉コース 教授



パネリスト

森實 真由美氏

沖縄県北部広域利用(通所型)若年妊産婦の居場所PONO.CO共同体運営責任者
医療法人 美ら海ハシイ産婦人科 院長

活動
報告

居場所のコンセプトや課題
及び成功事例など現状報告

神戸大学医学部卒業後、産科医としてのキャリアを開始。神戸大学で助教や産科病棟医長、米国ピッツバーグ大学客員研究員、兵庫県産科婦人科学会理事を歴任。現在は沖縄県名護市で美ら海ハシイ産婦人科院長を務め、令和5年度から北部広域対象 若年妊産婦の居場所「PONO.CO」の運営責任者として若年妊産婦支援に取り組む。



活動
報告

民間運営「10代ママくらぶ」から見たことと那覇市「ねいろ」との比較からみた現状と課題

「10代ママくらぶ」15年目を迎え、一般社団法人 あるの理事として多様な社会課題に取り組む。令和5年度には那覇市から受託した10代ママの居場所「ねいろ」の責任者を務める。令和4・5年度には当事業居場所設置業務にて、市町村職員や医療機関へのアンケート調査やシンポジウムを開催した。

パネリスト

安里 千恵子氏

一般社団法人 ある 那覇市若年妊産婦の居場所 ねいろ 責任者



パネリスト

島袋 綾香氏

zeroplace合同会社 代表社員(助産師) / 沖縄県若年妊産婦支援促進事業統括

調査
報告

居場所事業の課題、居場所モデル実施報告、若年妊産婦向け調査、想定支援者調査

琉球大学病院・市立吹田市民病院の産科等で勤務後、令和3年に産後ケア施設 zeroplace を設立。令和4年より沖縄県より若年妊産婦支援促進事業の情報発信・講座開催業務を受託。今年度は居場所設置促進業務も担当。当事者(元当事者)、支援者(想定支援者)の「声」を届ける。

2024.11.22(FRI) 無料

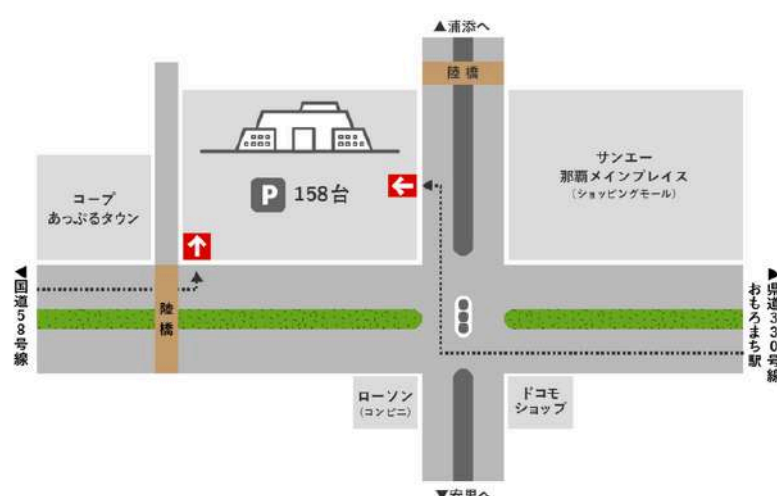
13:00~16:30

(12:30開場/13:00開会)

<ハイブリット開催>

沖縄県立博物館・美術館

YouTubeライブ



主催

沖縄県「令和6年度若年妊産婦支援促進事業」

運営事務局

zeroplace合同会社

電話: 050-1751-9354

メール: info@zeroplace.jp



参加
申込